

第15回

化粧品包装セミナー

— グローバルな視点での化粧品／トイレタリー包装 —

日 程:平成24年12月14日(金)10:00～16:00

会 場:スペースFS汐留

主 催:公益社団法人日本包装技術協会

ご参加の勧め

本セミナーも15回目を迎え、今回から大手化粧品メーカーの方々に企画委員として参画して頂き、プログラム編成を行ってまいりました。

今回は、グローバルな視点で世界を見据え、多角的角度から化粧品・トイレタリー包装についてご講演をしていただきます。今後の包装技術/開発の一助にして頂ければと考えます。

どうぞこの機会に関係各位奮ってご参加下さいますようご案内申し上げます。

プログラム

時 間	講 演 内 容	講 師
10:00 ▼ 11:10	『化粧品容器設計の留意点(形態別)(容器と中味のマッチング含む)』 化粧品容器の多くは、食品や医薬品業界で開発された素材や成形方法に付加価値を加えながら進化してきた。 1980年代からは化粧品の内容物がより高機能化すると共に容器(意匠)も新素材や新成形技術を駆使しながら進化し続けている。 設計開始時に最も必要である容器素材や成形・加飾選定時の留意点を、耐中味や意匠性の観点から形態別に解説する。 ●容器形態別設計の留意点 ①細口樹脂 細口ガラス ②広口樹脂 広口ガラス ③チューブ ④コンパクト ⑤塗布具付き容器 ⑥繰り出し容器 ⑦パウチパック ●容器の成形と加飾について 他	株式会社トキワ グローバルテクノロジー センター 主席研究員 井上 隆 氏
11:20 ▼ 12:30	『日本と海外(中国)化粧品パッケージの違い』 竹本容器は1996年に中国(上海)に進出して以来、約500社の化粧品・トイレタリーメーカーへ容器を供給してきた。その経験を踏まえ、日本と中国における化粧品関連容器の違いについて品質面、技術面、その他様々な角度から分析し、容器を海外調達する場合の基本的な知識やその特徴を解説する。 また、急速な成長を続けている中国において、当社を取り巻く経営環境の変化について、時代の変遷とともに紹介する。	竹本容器株式会社 常務取締役 深澤 隆弘 氏
13:30 ▼ 14:40	『人間工学によるデザイン開発』 あらゆる製品は人間によって作られ、人間によって使われる。包装も例外ではない。特に生活の場における包装や容器は、品質保持以外にその中身にアクセスできるか、使用し続ける気になるかなど、人間側の要素について考える必要がある。人間工学においてヒト(生物学的には人ではなくヒトと書く)は、生理学的、心理学的、形態学的といった複数の側面に注目することによって客観的に解釈できるようになる。デザインは審美的であり評価は難しいと捉えられがちだが、ユーザーとしてのヒトを中心に捉えることで、根拠に基づいて開発し、また評価することが可能である。ここでは、人間工学的な測定・評価方法や開発事例等を紹介し、今後の化粧品包装開発の一助となれば幸いである。	国立大学法人 千葉大学 大学院工学研究科 准教授 下村 義弘 氏
14:50 ▼ 16:00	『「資生堂のパッケージデザイン」そのミーム(文化遺伝子)と開発のプロセス』 創業時から現在まで脈々と伝承されてきた資生堂のクリエイティブのミーム(文化遺伝子)を紹介するとともに、国内のマスブランドとして元気のいい「マキアージュ」、グローバルハイプレステージブランドとしてリニューアルに成功し販売実績を向上させた「クレ・ド・ポーボーテ」のパッケージデザイン開発事例を分かりやすくレクチャーする。(内容の一部変更の可能性あり)	株式会社資生堂 宣伝制作部 チーフクリエイティブ ディレクター 松本 泉 氏

講師のご紹介

■井上 隆氏

(株)トキワ
グローバルテクノロジー
センター 主席研究員
1971年 (株)資生堂 鎌倉工場入社
1975年 同社
技術部 外装技術・品質保証
1999年 (株)資生堂本社
購買部(材料購買)
2002年 生産技術開発センター
2005年 宣伝制作部
(パッケージプロデュース)
2009年 (株)資生堂退社
2010年 (株)トキワ入社
グローバルテクノロジーセンター
新規外装設計及び開発を担当

■深澤 隆弘氏

竹本容器(株) 常務取締役
1999年 竹本容器(株)入社
2001年 上海竹本容器包装有限公司
董事・総経理
2005年 Takemoto Packaging, Inc.
(米国販売会社) 社長
本社営業部 絡城事業所
生産部門等を担当した後
2012年 8月より上海を拠点とし、
中国、米国、東南アジアの
販売を担当

■下村 義弘氏

国立大学法人 千葉大学
大学院工学研究科 准教授
2000年 千葉大学大学院自然科学研究科博士(工学)
現在 千葉大学准教授
日本生理人類学会理事
千葉大学フロンティアディカル工学
研究開発センター(兼任)
桑沢デザイン研究所 非常勤講師
【資格・著書】
生理人類士1級(アムニティプランナー)
日本産業デザイン振興会2008年度グッドデザイン賞
「医療用はさみ[ジョーヴェル・エルゴ・スーパー剪刀]」
日本産業デザイン振興会2011年度グッドデザイン賞
「下腿周囲長メジャー [MNA@CCメジャー]」
カラダの百科事典、共著、日本生理人類学会編、丸善
人間工学の百科事典、共著、大久保 堯夫編、丸善 ほか

■松本 泉氏

(株)資生堂 宣伝制作部
チーフクリエイティブ
ディレクター
1959年 東京生まれ
1983年 東京芸術大学大学院
美術研究科修了
(株)資生堂入社
現在に至る

講演要領

日時: 平成24年12月14日(金) 10:00 ~ 16:00
会場: スペースFS汐留
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル3F
参加費: 会員22,050円(消費税・テキスト代含む)
一般27,300円(消費税・テキスト代含む)
定員: 120名

お申し込み方法

- 本紙申込書に必要事項を全てご記入の上、FAXにてお申込み下さい。
協会ホームページからもお申込できます。
*協会ホームページ: <http://www.jpi.or.jp>にてホームページを検索し、
各種・催事から「第15回化粧品包装セミナー」を開いて下さい。ペー
ジ末の申込みフォームに必要事項をご記入して送信下さい。
- 申込みされた方には、後日参加証と請求書をお送りします。
- 当日、ご都合が悪くなった場合、代理の方の出席は差し支えありません。
(受付にて名刺をご提出いただきます)

お問合せ並びに申込み先

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当: 竹内
〒104-0045 東京都中央区築地4-1-1 東劇ビル10F
TEL.03-3543-1189 FAX.03-3543-8970
e-mail: takeuchi@jpi.or.jp

【個人情報の取り扱いについて】

1. 個人情報は「第15回化粧品包装セミナー」の事業実施に関わる資料等の作成、並びに当会が主催・実施する各事業におけるサービスの提供や事
業のご案内のために利用させていただきます。
2. 参加申込みによりご提供いただいた個人情報は、法令に基づく場合などを除き、個人情報を第三者に開示・提供することはありません。

会場案内図

- 交通手段 JR新橋駅 汐留口 徒歩3分
地下鉄 東京メトロ銀座線 新橋駅 2番出口 徒歩3分
都営浅草線 新橋駅 汐留1番出口 徒歩1分
都営大江戸線 汐留駅 徒歩4分
ゆりかもめ 新橋駅 徒歩1分



*ホール入り口は、建物正面右側の専用階段を上って下さい

第15回化粧品包装セミナー(12月14日開催)参加申込書

公益社団法人日本包装技術協会 化粧品包装セミナー係 担当: 竹内 FAX. 03(3543)8970 No.

会社名						JPI会員・一般 (どちらかに○を付けてください)
所在地	(〒)					
電話				FAX		
参加者	氏名		所属 役職		e-mail	
	氏名		所属 役職		e-mail	
	氏名		所属 役職		e-mail	